

Twitter Auto  
Favo  
テストソフト仕様  
書

# 目次

# やりたいこと

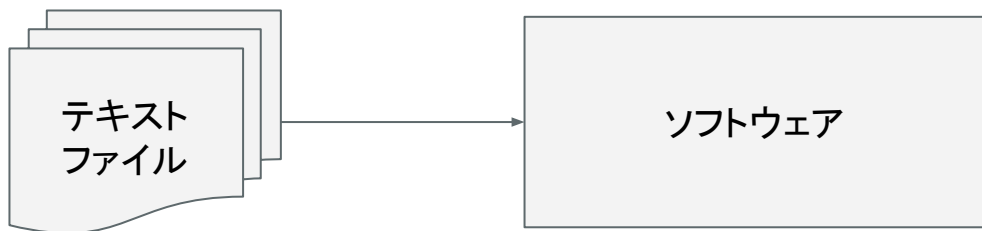
- ユーザーは自分だけにする
- 設定をデータベースに保存する
- Twitter OAuthに対応させる

# よく分かっていないこと

- データベースファイルの使い方
- データベースをPythonで扱う方法
- OAuthをウェブ上で処理する方法
- OAuthの後得られるトークンとパスの意味合い、使い方
- 複数のユーザーがデータベースにアクセスした場合の応答
- データベースにOAuth情報を格納する場合のセキュリティ性

# 第1ステップ

- OAuthのトークン、パス取得はweb処理ではなく「手入力」とする
- データベースファイルの代わりにテキストファイルを使う



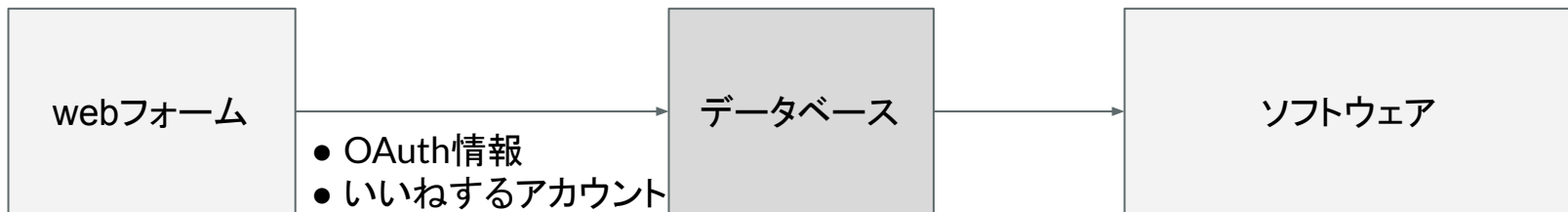
## 第2ステップ

- OAuth情報やいいねをするアカウント情報をwebで入力する



# 第3ステップ

- テキストファイルをデータベースファイルへ置き換える



# テストソフト作成中に気付いたこと

- <要検討事項-仕様>リツイート、メンション、リプライに関して
  - いいねを付けない仕様とすべきか
  - ユーザー本人に対するメンション、リプライには、いいねを付けるべきか？
  - ユーザーがそれらを設定できるよう、選択の幅を与えるべきか？
  - 【思想】リツイートにいいねを付ける仕様とすると、いいねをつけるユーザー範囲を制限できなくなる。
  - 【思想】ユーザー経験に悪影響を与えかねないので、リツイートへのいいねは制限したい。
  - 【思想】メンションは、ユーザー本人に対するものと、本人以外へ向けられたものを区別して考える。
  - 【思想】ユーザー本人以外へのメンション、リプライも、上述のリツイートと同様に影響範囲を絞り込めない。
  - 【思想】ユーザー本人以外へのリプライ、メンションには、いいねを付けない。ユーザー本人へのリプライ、メンションには、いいねを付ける仕様とする。